

## 森のニュース 2

### 県の平成21年度治山・林道関係施策・予算

#### はじめに

神奈川県治山林道協会会員の皆様には、日ごろから神奈川県の森林行政の推進に多大なるご支援、ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、平成21年度は、急激な景気の悪化により、地域経済に深刻な影響が出始め、県財政も厳しい状況となっておりますが、「神奈川力構想・実施計画」の着実な推進により、地域経済を下支えする経済対策、雇用対策など喫緊の課題に全庁的に取り組んでいるところです。

こうした状況のなか、治山・林道事業においても、緊急経済対策として、第4次対策に「林道危険箇所安全対策」、第6次対策として「ゼロ県債の設定」による端境期対策を実施したところです。さらに緊急雇用対策として県下の県営林道69路線の林道パトロール事業を創設し、6月の梅雨期から林道の通行機能確保のためのパトロールを行います。

#### 平成21年度予算について

平成21年度の森林課の予算は、総額78億2千万円、対前年比99%となっています。

治山・林道予算は、総額27億6千万円、対前年比96%が配分され、治山費が17億4千万円、林道費が10億2千万円と、それぞれ前年対比92%、104%となっています。

治山費においては、治山事業（公共）が14億2千万円、治山事業（単独）3億1千万円が配分され、県下64箇所で行山対策を

実施します。

新規事業として、近年の局所的豪雨の頻発や地震等による山地災害の発生から、「犠牲者ゼロ」に向けた「山地災害総合減災対策治山事業」を、清川村片倉と山北町平山で実施します。

さらに、南足柄市塚原の矢佐芝沢流域では、水源流域保全事業の新規地区指定を受け、今後4年間をかけ、水源かん養機能の向上を目的とした森林整備や崩壊地の復旧に着手します。

また、継続事業として、箱根町元箱根（蛇骨川上流）の復旧治山では、噴気帯上部の崩壊発生源対策等を実施します。

林道費については、林道開設等の公共事業が5億5千万円、林道改良等の単独費が4億7千万円配分され、29路線39箇所事業を実施します。

新規事業として、平成19年1月から通行止めになっている県営林道玄倉線2号隧道の付替工事を、「神奈川県・山北町水源地域交流まちづくり計画」の一環として、3カ年の工期で実施します。



蛇骨川上流治山対策 土石流対応型スーパー治山堰堤



八丁神縄林道（八丁工区）

さらに、団体営林道整備事業として、新たに伊勢原市営林道大山線の法面对策に補助します。

また、継続事業として、県営林道八丁神縄線（山北町皆瀬川）ほか2路線の林道開設、県営林道神の川線（相模原市津久井町）の落石対策、相模原市営林道奈良本線ほか1路線の舗装事業等を実施します。

#### おわりに

平成21年度の治山・林道予算の概要は、以上のとおりですが、治山・林道事業の実施にあたっては、「緑の社会資本」である森林の恩恵を後世の人々が享受できるように、多様で健全な森林へ誘導するための基盤整備事業であることを常に念頭に置き、事業を推進したいと考えております。

今後とも会員の皆様には、治山・林道事業の着実な推進にご支援賜りますようお願い申し上げます。（環境農政部森林課 森林整備班）